



新人看護師「一年間の振り返りと今後の抱負」

私は今年度より看護師として正式に採用され、3階東病棟に配属となりました。慣れない環境や業務だけでなく、看護師としての責任感を持ちつつ、毎日が目まぐるしく過ぎていきました。あっという間に2年目を迎えます。落ち着いて業務に取り組み、そして、患者と向き合い、寄り添える看護師になれるよう日々励んでいきたいです。

3階東病棟 松崎

昨年4月から看護師として働き始め、新しい環境に慣れることや業務をこなすことに必死でした。自分の理想と現実が異なり、仕事が時間どおりに進まず、焦って失敗するなど大変なことも多くありましたが、少しずつ業務にも慣れ、患者とのコミュニケーションも図れるようになり、患者や家族に感謝の言葉を頂くこともあり、その分、やりがいと楽しさを見つける事ができました。これから、一年間で学んだことを活かし、患者に1番近い看護師でいられるよう努力していきたいと思います。

4階東病棟 森木

この一年間で私が最も成長したと思う点はタイムスケジュール管理でした。入職したばかりの事は、出来る事はなんでも自分でやらなければという焦りがありました。現在は自分が看護技術に必要な時間を把握することができ、業務が滞り患者を待たせてしまうという事が格段に減ったと思います。今後も患者を主体としたタイムマネジメントができるように意識して仕事に取り組みたいです。

4階東病棟 磯口

4階西病棟に配属になり、多くの助言を頂きながらなんとか一年を終える事が出来ました。感謝の気持ちで一杯です。自分に余裕がなくなると一つの事に集中してしまう傾向があることをこの一年間で気づく事が出来ました。一年間を振り返ると、忙しく自分に余裕がなくなり、確認不足、自己判断で行動してしまい、インシデントを起こしてしまう事がありました。忙しい時程、確認をしっかりと行い、分からない事は先輩に聞きながら仕事をしていきます。また、余裕が無くバタバタとしている姿は、患者に不安感を与えるものであると思います。忙しくても、患者と接する時は、視線を合わせ説明をしっかりと行い、同意を得てから患者と関わりをもち、不安感の軽減ができる様にしていきたいと思います。

4階西病棟 西野

看護師となり3東病棟に配属されて、約一年が過ぎようとしています。初めは忙しい病棟でついていけるのか心配で、毎日覚える事ばかりで大変でしたが、先輩看護師や他スタッフの支えがあり1年間乗り越えて来ることが出来ました。また患者さんの観察するポイントや看護技術も優しく教えてくださり、たくさん学ぶ事ができた一年でした。

一年目で学んだことや指導をいただいたことを思い出しながら、基本を忠実に来年一年も頑張っていき、安全で安心してもらえるような看護実践が出来る様にしていきたいと思います。また薬剤・症状・疾患の学習を深めて根拠のあるアセスメントが出来る様にしていきたいです。

3階東病棟 飛鷹

4月に入職しもうすぐ一年が経ちます。この一年を振り返ると、慣れない環境で看護師として本当にやっていけるのか、不安だらけだった事を思い出します。看護技術面で不安はありましたが、病棟全体が新人への教育体制が整っており、経験した事のない処置や技術に積極的に参加させてもらい、とてもいい勉強・経験となりました。今後は疾患・症状などを広い視野で観察、アセスメント出来る様に学習していき、根拠を持った看護を実践していけるように努力していきたいと思います。

4階東病棟 溝上



一年間を振り返ってみると、はじめは分からない事が多く不安な毎日でしたが、先輩方に一つ一つ教えて頂き、徐々にわかる事も増えてきました。また、たくさんの患者さんとの出会いや別れが自身の学びや原動力にも繋がっているように思います。この1年で学びを土台に、基本的な事や初心を忘れずに、日々感謝の気持ちを持って、これからも自身の目指す看護師に近づけるよう努力していきたいです。

4階西病棟 田島

一年間を振り返り、配属されて数カ月は病棟の業務を覚えることに必死な毎日でした。分からない事は先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくださり、失敗した際には優しく声をかけてもらい、そのおかげで業務にも慣れ、出来る事も増え、少しずつ自信が持てるようになりました。この一年で多くの患者と出会い、多くの経験をする事が出来、看護師としてのやりがいや楽しみを実感することができました。先輩方のような看護師に近づけるよう、これからも日々努力していきたいと思います。

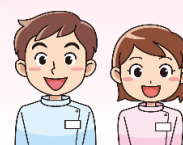
4階西病棟 安倍松

一年間を振り返ると、行う事全てが初めてで不安なこともありましたが、経験する中で、多くの事を学びました。また、患者様が不安なく退院出来る様に支援していく事の大切さをこの一年を通して学びました。今後も更に多くの技術や看護について学んでいきたいと思います。

包括ケア病棟 奥平

4月に入職し最初の二ヶ月間は、技術の演習やそれぞれの病棟をローテーションし、また多職種で現場で、一日体験させていただいたりもしました。知識や技術についてまだまだ不足していますが、入職当初より成長できたと感じています。また、多職種との連携が、他部署体験や看護を実施していく上で重要であることを実感しました。今後、知識・技術の向上だけでなく他部署との連携を図り、患者さんを第一に考えて行動したいです。

回復リハビリ病棟 山下



院内研修

新人看護研修 ナラティブ(まとめ)を終えて

回復リハビリ病棟 山下



ナラティブでは、入浴介助の体験についてまとめ、発表までに、師長、主任、プリセプターの方々に多くの指導を頂きました。情報収集の大切さ、先入観を持つことで看護の妨げとなる事、患者さんの尊厳や権利を尊重し、その人らしさを生かすことの大切さを学ぶことができました。そして、発表後に総評を頂き、看護を周りの人と共有し、繋げることが大切であることも学びました。今回学んだことを日々の看護に活かせるようにしていきたいです。



ラダーⅠ看護:看護研究計画書作成を終えて

講師：地域連携室 今村 千佳子

手術室 内野



クリニカルラダーⅠの「研究」コースにおいて看護研究計画書を作成してきました。研究を始めるには、文献検索が重要になり、目的・考察を見て大まかな内容を読み取ることが大切でした。また、考察・結果から自分が知りたい情報なのか、テーマと合っているのか、アンケートの内容や方法など研究を行う視点はいく通りもあり、研究の奥深さを感じることが出来ました。

看護研究をするにあたって、研究の項目がたくさんあり大変でしたが、研究計画書を作成することによって、看護研究が円滑に進むために重要であることが学びました。

H30年度 看護研究発表会(2/19)を終えて

4階東病棟 教育委員 福山

今回、教育委員として初めて看護研究発表会に参加した。今までは第3者として聞いている部分もありましたが、今回は役割を持つての参加となりました。私の役割は書記で、議事録を記載して実際に発表されたこと・質問と解答・講評を実際に文章に書き起こすことによって更に深く理解することができました。

全5部署のテーマは、その部署に特化したものであり、自部署でも活用できるようなものもありました。発表を聞いて、自分自身も多く学ぶことができ、今後の看護に活かしていくことができたと思います。



H30年度 プリセプター・エルダー会を終えて

回復リハビリ病棟主任 満園



プリセプター・エルダー会を教育委員担当として担当しました。会議においては、新人教育指導の進行状況、病棟での指導実施方法、看護技術到達チェックリスト途中報告などを、他病棟のプリセプターとグループワークを通して指導方法についての問題点や課題など抽出できた機会となりました。また、エルダー・プリセプター会が進むごとに「頼もしい姿」に成長を感じることが出来ました。



院外研修

「看護職員認知症対応力向上研修」を受講して

3階東病棟師長 村尾

認知症患者と接する機会の多い看護師が、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基礎知識や認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得することを目的に、三日間の研修に参加しました。まず、患者の状況をしっかり観察し、認知機能を評価することが第1歩です。認知症ケアは、患者の「安全」と「尊重」のジレンマで葛藤しながら、個々に対応することになります。全身管理を優先するような急性期では、抑制やむなしの問題志向型と退院後の生活を見据えた課題適応型の看護計画を使い分け、定着している身体抑制を減らすためのカンファレンスをもう一步推進し、うまくいったことを肯定しながら、話し合いを重ねていく事で身体抑制が減少することに繋がると改めて認識しました。



「新人看護職員卒後研修実施指導者研修」に参加

<1/10~1/12>

4階東病棟 大山

今回、1月10日~12日まで行われた新人看護職員実施指導者研修に参加させて頂きました。初めてプリセプターという役割を担うことになり、全くイメージもつかず研修へ参加しましたが、研修に参加させて頂き、指導をするにあたり、大切なことなどを理解することが出来ました。一年目の看護師の意見も聞きながら、共に成長することが大切であると感じました。そして、まだまだ未熟な私自身であるため、自分の苦手分野など克服しながら、プリセプターとして成長していきたいと思っています。



<2/7~2/9>

4階西病棟 宇都

今回の実地指導者研修会を通して、新人看護師と対等な関わりに心掛けないといけないことを学んだ。自分は、新人看護師を教育するうえで、上下関係を作ってしまうと、新人看護師は、自分の意見が言えず、個性がなくなってしまう。そうならないために、今回の研修で新人看護師も1人の人間、看護師であり、対等な関わりをすることで新人も個性を伸ばしていけると感じました。まず対応な関わり的一步として、新人看護師へ自分の新人時代の失敗談やその時の思いを伝え、看護観を共有し、指導者である自分も同じ新人時代を歩んできたという事を伝えていきたいです。

ふれあい看護体験

(薩摩川内市立川内中央中学校 2年生)

担当:教育指導担当看護師長 久保 洋子



2019年2月21日に川内中央学校、2年生4名（男性2名、女性2名）が看護部職場体験に参加されました。医師や理学療法士を目指す男性学生や、看護師志望と医療関係を志望している女子学生の方々。看護師と過ごす中で、看護師への憧れが増したことで、患者と一緒に話げできたこと、自分の将来や進路のことを考える上でとても大切な経験になったと感想を述べていました。



マイブーム

私のマイブームは、5年程前から始めたキャンプです。親しい友人たちと外で食事をしたり、お酒を飲んだり、焚火をしたり、釣りをしたりすることで日常からの解放感もあり堪らなく、これからも止みそうにないマイブームとなっています。

これから外で過ごしやすくなるので、未経験の方も家族や親しい友人たちと行ってみる事をおすすめします。もし、同じ趣味をお持ちの方がいらっしゃれば、ぜひ、いろんな情報を教えて欲しいです。

外来 大六野

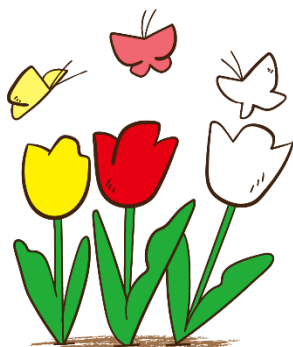


ミニナラティブ

包括ケア病棟 久保

Tさんは奥さんと二人暮らしで、今回腰椎の骨折で初めての入院となりました。Tさんは骨折がなかなかよくなり、リハビリも端坐位をとるのが難しい状況で、今後、奥さんと二人暮らしの自宅に帰れるか、多職種間で話し合いをしました。Tさんには子供さん達がいますが、遠方でなかなか帰省していないとのことで、夫婦二人だけで暮らしてきた背景があります。介護保険などの社会資源も夫婦共にサービスを利用していませんでした。子供さんに現状を知ってもらう必要があると考え、ソーシャルワーカーから連絡をとってもらいました。娘さんが帰省するタイミングをはかり、医師より現状の説明を行いました。また、奥さんの体調面も優れず、認知面での不安があることも伝えました。娘さんも現状を理解され、Tさんだけでなく、奥さんにも介護保険を介入することになりました。

その後、Tさんは施設へ退院されました。私はこの事例を通し、患者だけではなく、家族の背景にも目を向け、退院後の生活を想像した看護を行う重要性を学ぶことができました。



編集後記

インフルエンザの影響も昨年と比較できない程の落ち着きで何よりでした。

今年は、「平成」（2018年）が幕を閉じ、「新年号」が発表される年でもあります。

看護部も「ミッション」「ビジョン」「バリュー」へ理念がリニューアルされます。2018年度のしめくくりをしっかりと行い、新たな目標に向かって、邁進していきましょう。

(久保)